

令和8年度までの目標	国語		算数・数学	
	自校A B層の割合	70%	自校A B層の割合	70%
令和5年度の成果	自校A B層の割合	56.4%	自校A B層の割合	49.3%

## 目標達成に向けた取組

3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
<b>学校全体の取組</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科でめあて、まとめ（振り返り）を毎時間行う。</li> <li>学級担任は自己申告で国語・算数の授業を年1回実施する。</li> <li>校内研究「豊かに読み深める児童の育成～文学的文章の学習を通して～」を通じた授業改善。</li> <li>校内研究での指導教諭との連携。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>算数の東京ベーシックドリル（東京BD）診断テストを年間4回実施し、既習内容の定着を確認する。</li> <li>東京BDの結果を生かした年間15分×35回の朝学習の実施。</li> <li>2年生の九九を6月末から暗唱に取り組み、7月末から暗唱の点検。</li> <li>校内漢字テストを6月から実施し、個々の成長が見えるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間3回実施の江戸川っ子study week!でデジタルドリルを活用する。</li> <li>日々の宿題の徹底。</li> <li>大杉っ子家庭ルール週間を年3回実施し、家庭学習、手伝い、SNSの使い方を確認する。</li> <li>年9回の保護者ボランティアによる読み聞かせや、秋の家族で読書チャレンジの実施。</li> </ul>
<b>特に支援が必要な児童・生徒への手立て</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が進んで学べる国語科の単元づくりを行う。</li> <li>ipadやデジタル教材を積極的に活用する。</li> <li>よむYOMUワークシートの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ミライシードで苦手分野の復習を繰り返し行う。</li> <li>漢字の小テストや毎学期の漢字まとめテストの直しや再テスト徹底。</li> <li>東京BDの反復練習。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京ベーシックドリル成績下位層へ放課後補習教室への参加を促す。</li> <li>個人面談で学習習慣や生活習慣について保護者と情報共有。</li> </ul>
<b>成果指標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国語「授業内容はよく分かる」肯定的回答80%以上 (R5:68.5%) 「学習が好き」肯定的回答70%以上 (R5:48.9%)</li> <li>算数「授業内容はよく分かる」肯定的回答80%以上 (R5:68.5%) 「学習が好き」肯定的回答70%以上 (R5:55.5%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京BD令和8年度6年生平均正答率70%以上、(現4年生57.1%) 令和6年度末6年生60%以上学校平均70%以上(昨年度末6年生41.8%：学校全体61.16%)</li> <li>全国学力学習状況調査令和8年度国語算数C・D層50%以下。</li> <li>区学力定着度調査7月、1月7割以上。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童質問紙「授業時間以外の勉強時間」60分以上の回答割合80%以上(令和5年度51.8%)</li> </ul>